

発展を目指す企業家のための経営指南役

No. 821

平成27年7月21日(火曜日)

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

マーケティング

ムーミンの森、埼玉県の救世主なるか 本社所在地以外の工場受入れは首位

埼玉県は観光客や修学旅行生の来県数が全国ワーストクラスだが、県外からの工場進出や野菜出荷量では全国トップクラス。東南アジアへの日本酒輸出も多く、そのノウハウを学ぶ県外蔵元が多いそう。県庁サイドは東京五輪を控え競技会場に一部施設が決定しているだけに、今から観光客等の集客アップ策に決定打を見いだせない焦りもある。そこへ降ってわいたように飯能市の宮沢湖周辺にフィンランドの人気童話「ムーミン」を主題にしたテーマパーク「メッツア」（森の意味）を2017年にオープンすると投資会社が発表した。

約18万7000㎡のレクリエーション施設を西武鉄道から6億円で取得する。東京ドームの約4.5倍の面積で、ムーミンのテーマパークはフィンランド以外では初めてという“惹句”が売りだ。

西武鉄道はやっと再上場にこぎ付け、雌伏10年の「縛り」から埼玉西部地方に輝きを取り戻したい意地がある。県・テーマパーク・鉄道の三味一体のマーケティングが効奏するかが鍵。本社所在地外の都道府県からの工場受け入れは、埼玉県の立地条件等を他県が羨むほどだ。埼玉県が2756件で最多。上位の千葉県1780件、茨城県1628件を大きく上回る。すでにホンダ寄居工場やグリコの集配センターは稼働中だ。埼玉県の好立地とは東北への玄関となり東京に近い。次に道路混雑で首都圏迂回が始まり、埼玉拠点で物流効率が飛躍的に高まっている。

税務会計

査察の脱税総額は約150億円と低水準 検察庁への告発率も62.2%と低い割合

国税庁がこのほど公表した2014年度査察白書によると、査察で摘発した脱税事件は前年度より9件多い194件、脱税総額は39年ぶりの低水準だった前年度を3.6%上回る約145億円となった。

今年3月までの1年間（2014年度）に、全国の国税局が査察に着手した件数は194件と、前年度を9件上回った。継続事案を含む180件（前年度185件）を処理（検察庁への告発の可否を最終的に判断）し、うち62.2%（同63.8%）に当たる112件（同118件）を検察庁に告発した。この告発率62.2%は、前年度から1.6ポイント減少し、38年ぶりの低水準だった2011年度（61.9%）に次ぐ低い割合だった。

告発事件のうち、脱税額が3億円以上のものは前年度より2件多い6件にとどまった。近年、脱税額3億円以上の大型事案が減少傾向にあり、2014年度の脱税総額150億円は、ピークの1988年度（714億円）の約21%にまで減少している。告発分の脱税総額は前年度を約6億円上回る約123億円、1件当たり平均の脱税額は1億1000万円と、35年ぶりに1億円を下回った前年度を1100万円上回った。

告発件数の多かった業種・取引（5件以上）は、「不動産業」が16件でトップ、次いで「クラブ・バー」が10件、「建設業」が8件、「運送業」と「広告業」が各4件で続く。「不動産業」では、売上除外や核の経費を計上していたもの、「クラブ・バー」では、ホステス報酬に係る源泉所得税を徴収しながら未納付だったものが多い。

今週のキーワード

埼玉県の立地条件

都道府県別工場数—トップは愛知県、県外進出トップは東京都、県外受入トップは埼玉県。好立地は①東京に近い②道路迂回（圏央道開通などバイパス開通）③地価が神奈川県などに比べ安価④自然災害が少ない（都道府県面積比較では河川の数は多いが治水がよく、地震や台風被害が少ない）。労働力では地元流出を防ぐために人件費で東京都や神奈川県に対抗する力やブランドが欲しい。県南部は古くから東京都からの主力工場が集中し、労働力の要る大型工場は交通要衝の県北西部に集まる。

※配信先の変更、配信停止のご希望はお手数ですが Tel.03-3216-2004 または info@knowsi-land.jp までご連絡ください。